

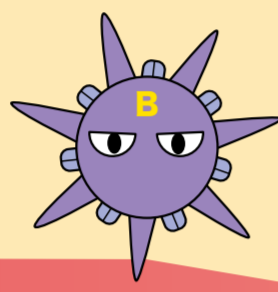
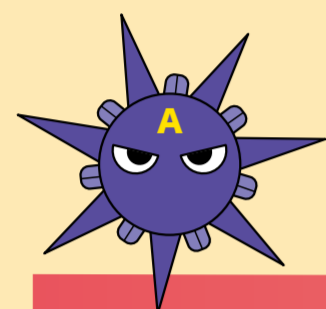
インフルエンザを知ろう

インフルエンザは「インフルエンザウイルス」というウイルスに感染することが原因で起こる病気です。

インフルエンザウイルスの種類

大きく分けて「A型・B型・C型」の3種類

見た目に大きな違いはありませんが、それぞれの性質は大きく異なります。



毒性の強さ

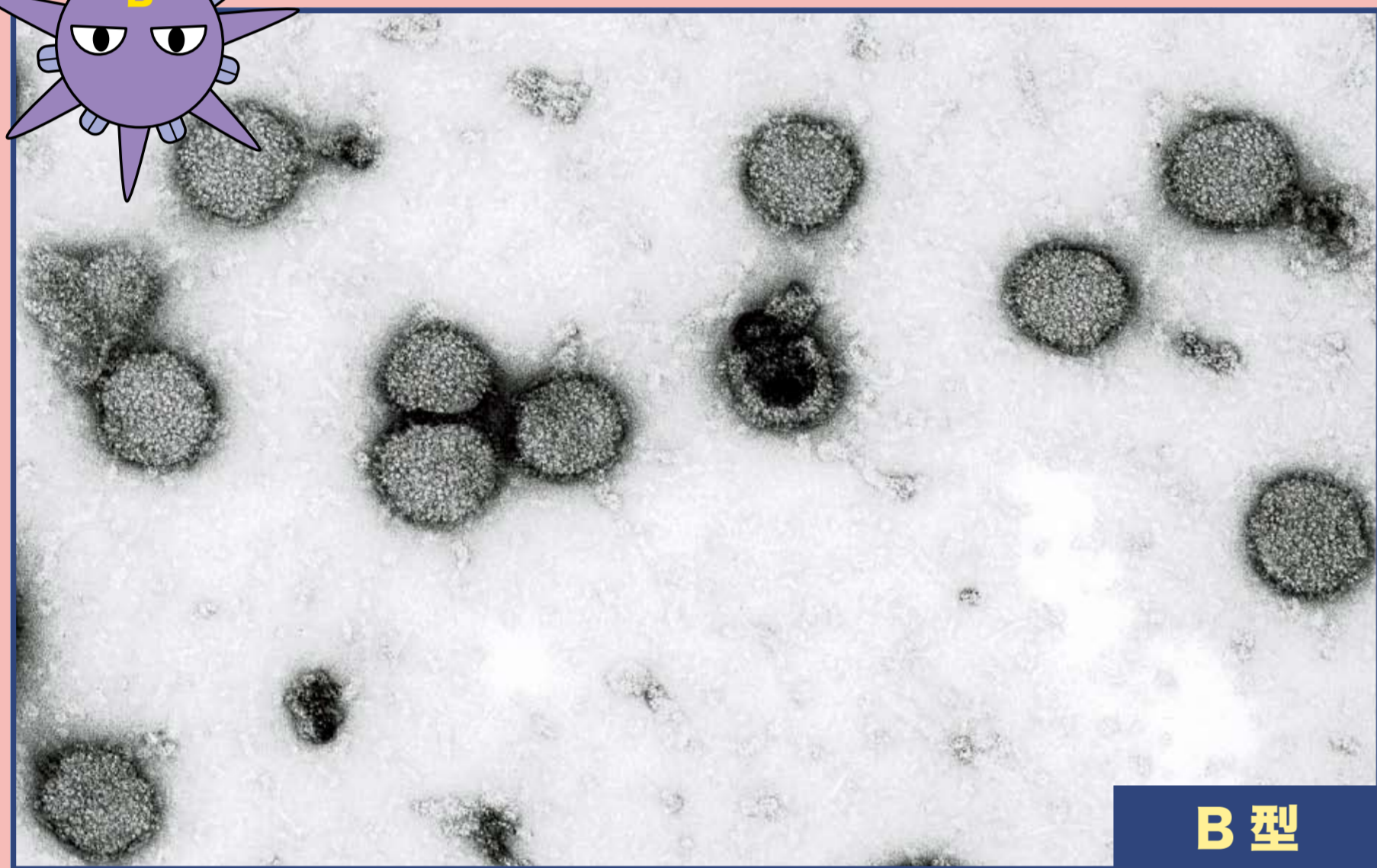
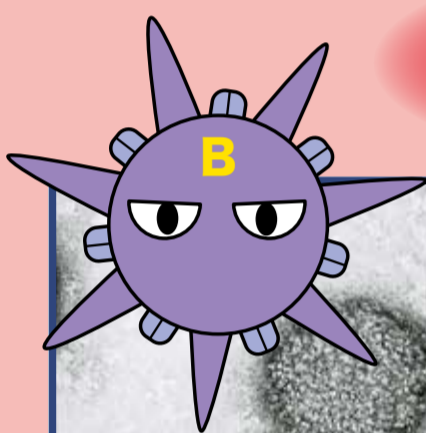
強

弱

A型とB型の毒性は強いため、症状も重くなりやすい。

B型

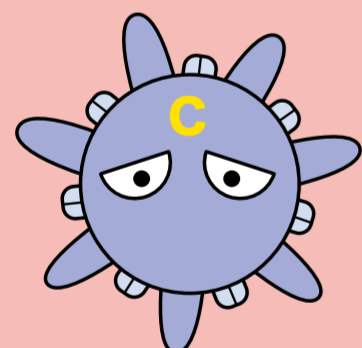
毎年流行しますが、A型ほど変異しないため、種類はあまり多くありません。



B型

C型

たまに発症する程度であり流行しません。A型やB型より感染力が弱く、軽い症状ですみます。

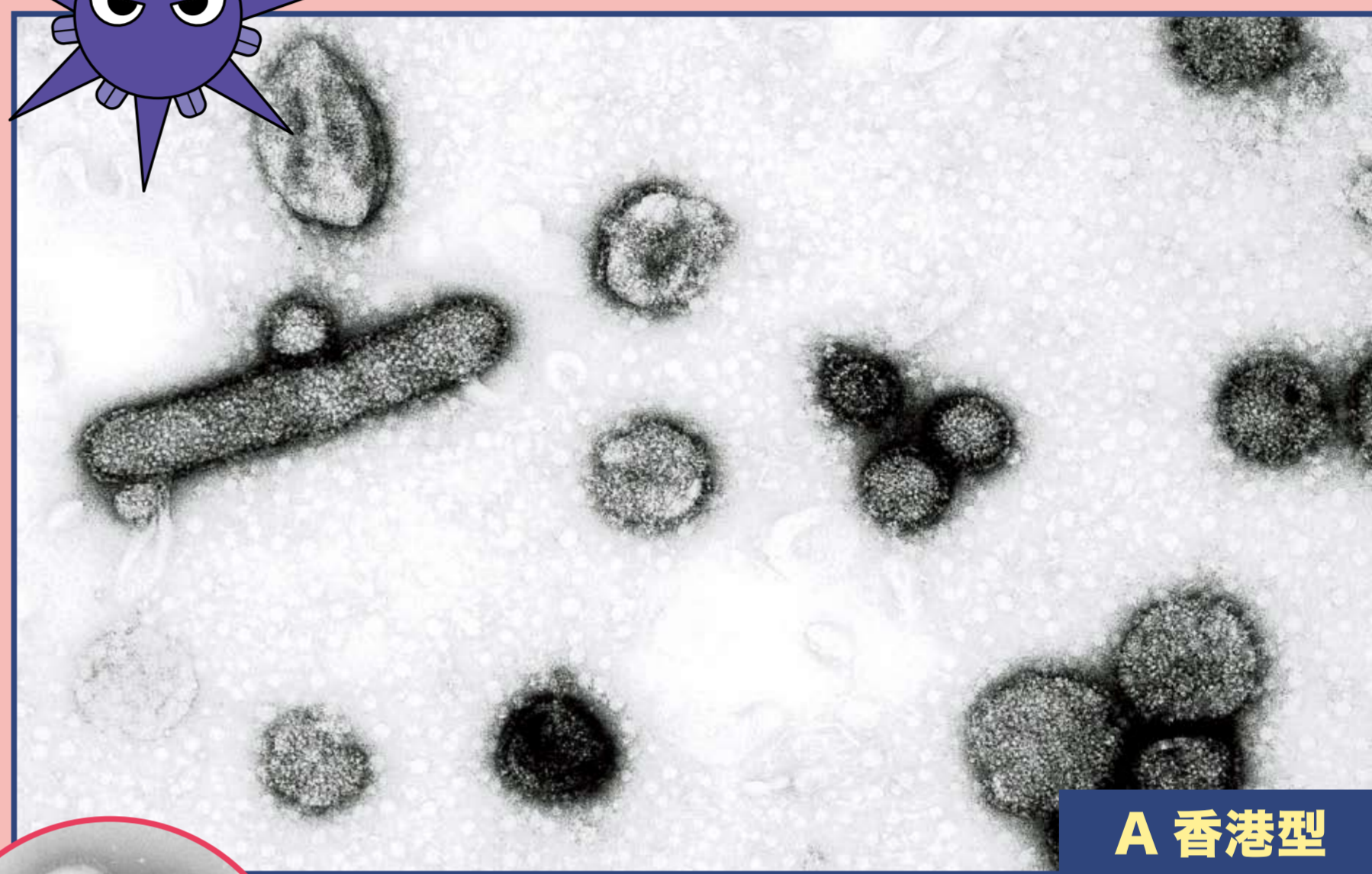
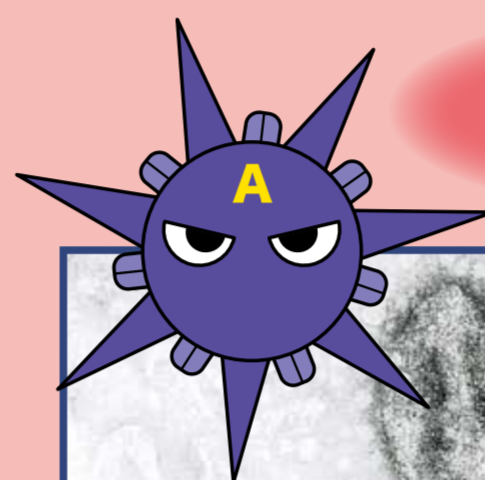


それぞれのウイルスの特徴

写真提供: 国立感染症研究所

A型

毎年少しずつ違うタイプに変異して流行し、香港型やソ連型などおよそ144種類もの型があります。



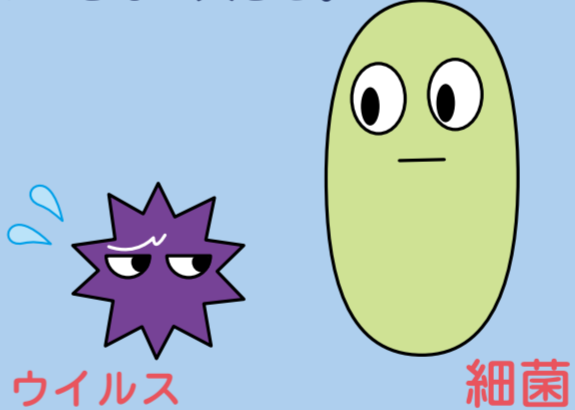
A 香港型

ウイルスが少しでも変異すると、体の免疫が対応できずに感染してしまいます。これまで世界で大流行した新型インフルエンザはすべて変異しやすいA型でした。

←昨年流行した新型インフルエンザもA型

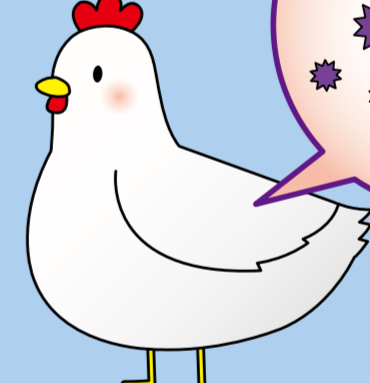
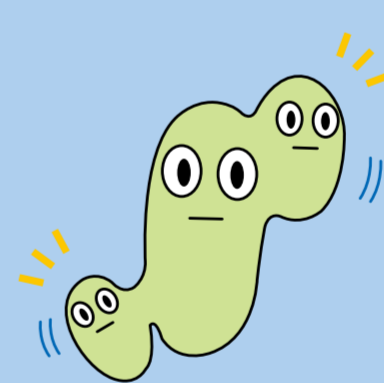
ウイルスと細菌は違うの？

ウイルスは細菌よりも小さく、学校で使う顕微鏡では見ることができない大きさ。



ウイルス

細菌



細菌は細胞分裂で増殖できるが、ウイルスは自分で増殖できない。ほかの生物の細胞に宿れば増殖できるので、次々に感染して仲間を増やしている。

インフルエンザの症状をチェック!

熱のほかに2つ以上当てはまった場合はインフルエンザの可能性が高い!

■ 38℃以上の熱がある

- 鼻水、鼻づまり
- せきが出る
- のどに痛みがある
- 頭痛がある
- 関節痛、全身痛がある
- 呼吸困難または息切れがある
- 胸の痛みが続いている
- 2日以上、発熱が続いている
- 症状が長引いて悪化してきた



インフルエンザは感染しやすいので、疑いがあったらすぐに病院で診断を受けて対処しましょう。

感染しない・させないためのせきエチケット

せきは異物を体外に追い出すための反射運動なので、体の中にウイルスがいる場合、まわりにまき散らすことになります。



予防と感染拡大を防ぐためにマスクをしよう!

インフルエンザが治り、医師から登校許可がおりた後も2日間は学校でマスクをすると効果的です。



マスクがないときは

ハンカチで口をおさえてせきやくしゃみをしよう。

